

## 【実践事例3】高等学校における取組

### キャリア発達を支援する組織的な職場体験

愛知県立津島北高等学校

#### 1 はじめに

##### (1) 本校の概要

本校は1学年5学級（普通科2，商業科3，平成18年度より普通科3）の併置校である。「勤勉・誠実・健康」という校訓のもと、「希望がかなう教育」を目標に文武両道を実践している。生徒のために厳しいが面倒見のよい指導で，地域からの信頼を得ている。

商業科を含め全校生徒の80%以上が進学希望であり，就職は毎年30名程度である。

##### (2) 学校全体での取組

進路指導部主導のもと進路指導が段階的に行われている。特に，生徒自身に進路を主体的に選択させる指導を実践している。

入学時に「サクセスストーリー」（入学時から卒業まで，いつ何をどのような気持ちで取り組めばよいかを進路希望別に示したものを）を用いて，3年間の高校生活の目標を具体化させている。

1年次から進路意識を確立させるために，「進路の手引」を配付し，様々な課題に挑戦させている。課題の内容は，進路適性検査・職業適性検査結果を用いた自己理解，「将来の夢」を描く，「職業」について考える，職業人にインタビュー，学校案内の入手と内容理解，大学調べ，学部・学科調べ，自分が今後すべきことのまとめ等である。1年次は，進路希望にかかわらずこれらの内容を全員に考えさせている。2年次は就職・進学の希望別に，1年次より深く研究する課題を与えている。

年に一度は，勤労観，職業観の育成を目的に，講演会を実施している。商業科よりも，進学希望の普通科に聞かせることが目的である。

さらに就職希望者には，企業の人事担当者による講話，グループに分かれての会社見学，外部講師による面接指導，先輩と語る会なども実施している。

##### (3) 商業科での取組

商業科は授業の中で様々な取組を行っている。平成6年度より実施の職場体験，地元の方々にパソコン操作を個人指導する「北高パソコン塾」（平成15年度より実施），近隣の高等学校から仕入れた花・野菜等を販売する「北高バザー」（平成15年度より実施），津島市の「高齢者向けのパソコン教室」の講師（平成16年度より実施）を行っている。また，福祉施設でのボランティア活動，社会人講師を招いた講演も適宜行っている。

#### 2 本実践のねらい

職場体験の実践は，在学中に実社会での就業体験を行うことは職業観・就業意識を高める上で大きな効果があるとして，一日体験入社という名称で，平成6年度に下記の一連の事業の一環として実施された。2年商業科全員が12の職場に分かれ職場体験を行った。

1年	10月	地場産業の職業見学
2年	11～12月	職業人インタビュー
	2月	一日体験入社
3年	6月	先輩と語る会
	12月	社会人セミナー

平成8年度からは、体験場所を(株)ヨシツヤの1社とし、2年商業科全員が職場体験を行っている。平成11年度から2日間、平成13年度からは3日間で実施している。

本年度からは、事前指導、事後指導の充実を図るため、職場体験前後に(株)ヨシツヤ人事部長より直接指導をいただくことにし、職場体験3日、事前指導1日、事後指導1日という5日間で実施した。

ヨシツヤ体験入社は、実際の職場で就業体験することを通して、望ましい勤労観、職業観を身に付けるとともに、将来の職業に対する意識を高めることをねらいとしている。

### 3 実践の実際

#### (1) 本実践の概要

(株)ヨシツヤにおける職場体験では、生徒は8店舗に分かれ販売実習を行う。8店舗という店舗数は、教員の引率や1店舗での受入生徒数の関係で決めており、毎年7～9店舗で実習している。実習を行う店舗は、生徒からの希望調査結果と、各店舗の受入生徒数を考慮し、(株)ヨシツヤと相談し決定している。実習内容は、基本的には販売に関する業務であるが、事務センターで経理の補佐等を行うこともある。表1は、平成17年度の実習先

表1 平成17年度 配属課名一覧と実習生徒数の課名と配属された生徒数の一覧である。平成17年度の場合、生徒が配属された課は、合計33課であった。

3日間の職場体験の間、生徒はブラザーさん、シスターさんと呼ばれる(株)ヨシツヤの社員の方々から、直接、個別指導を受けている。毎日の実習の中で、店長講話と、反省会を実施している。

番号	課名	生徒数
1	ドライ	11
2	日配	9
3	青果	7
4	肌着	7
5	Yレジ	6
6	酒	6
7	精肉	6
8	婦人	6
9	紳士	5
10	玩具	4
11	住関	4
12	日雑	4
13	日用品	5
14	YY	3
15	家電	3
16	子供	3
17	鮮魚	3

番号	課名	生徒数
18	惣菜	3
19	服飾	3
20	飲食	2
21	靴	2
22	本	2
23	洋品	2
24	カー用品	1
25	スポーツ	1
26	ファンシー	1
27	寿司	1
28	百円均一ショップ	1
29	販促	1
30	販促(事務センター)	2
31	システム(事務センタ	1
32	買掛(事務センター)	1
33	元帳(事務センター)	1

計33課

#### (2) (株)ヨシツヤの概要

商号 株式会社 義津屋  
 創業 昭和7年8月8日  
 正社員数 897名  
 従業員数 約3500名  
 店舗数 22店舗  
 事業内容 総合ショッピングセンター

## (3) 活動内容

月	活 動 内 容	生徒に獲得させたい職業的発達にかかわる諸能力
5月	第1回打合せ ・(株)ヨシヅヤ人事部長と教頭・商業科主任・担当教員による体験入社日程の調整等	
7月	生徒の希望店舗調査	
9月	第2回打合せ ・(株)ヨシヅヤ人事部長と担当教員により,生徒店舗希望調査結果より実習店舗の決定,体験入社実習の正式依頼	
10月	配属課名,ブラザー,シスターの決定	
	引率者会議 ・スケジュールの確認 ・生徒の集合場所,服装等	
	実習店舗店長と打合せ ・体験入社の正式依頼 ・体験入社に関する詳細な実施内容等の依頼	
	体験入社日誌の製本	
	第1回事前指導(業後) ・商業科主任講話 ・保護者向け案内配付 ・身だしなみ指導	情報収集・探索能力 職業理解能力
	第2回事前指導(業後) ・生徒指導主事講話 ・日程詳細説明 ・提出書類について ・お礼状(の書き方)について ・身だしなみ指導	情報収集・探索能力 職業理解能力
	第3回事前指導(業後) ・進路指導主事講話 ・最終チェック(身だしなみ,集合等)	情報収集・探索能力 職業理解能力
	第4回事前指導 ・(株)ヨシヅヤ人事部長講話	情報収集・探索能力 職業理解能力
	体験入社3日間 ・1日目 店長講話「体験入社に当たって」 店長講話「社会人の資質」 ・2日目 店長講話「実習を通して気付いたこと」 ・3日目 店長講話「商業科高校生に向けて」	自他の理解能力 コミュニケーション能力 情報収集・探索能力 職業理解能力 役割把握・認識能力 選択能力
	第1回事後指導(朝学時,業後) ・お礼状の提出 ・作文の提出 ・体験入社日誌の提出	計画実行能力 課題解決能力
	第2回事後指導 ・(株)ヨシヅヤ人事部長講話	計画実行能力
	第3回事後指導(朝学時) ・体験入社日誌の提出	計画実行能力 課題解決能力

(4) 体験入社 3 日間の流れ

時 間	内 容	生徒の動き	引率教員の動き
8:10	遅刻・欠席連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻・欠席連絡は 8:10 ~ 8:30 に学校へ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻・欠席連絡を受ける。</li> </ul>
8:40	<p>現地集合，点呼</p> <p>身だしなみチェック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間厳守（早過ぎることもないように）</li> <li>自転車は従業員用自転車置場へ置く。</li> <li>そのまま作業ができる服装と補助バッグで集合する。</li> <li>実習にふさわしい身だしなみであるかどうか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少し早めに現地へ行き，生徒の誘導，自転車置場整理の指導をする。</li> <li>点呼，身だしなみのチェックをし，入店前に学校へ連絡をする。</li> <li>メモ帳，筆記具の携帯を確認する。</li> </ul>
8:55	引率教員と共に入店 (従業員用出入口より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>8:55 に間に合わなければ，学校へ制服で登校する。</li> <li>大きな声で，気持ちの良いあいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみが十分でない生徒には，「帰宅して，制服に着替えて学校へ登校する」ことを伝える。ただし，その場で直せるものは指導し，入店させる。</li> </ul>
9:00	<p>《1日目》 オリエンテーション 店長講話 ～体験入社に 当たって～</p> <p>ブラザー，シスターと顔 合わせ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心構え，諸注意などを聞く。</li> <li>よく聞いてしっかり守ること。</li> <li>このあとはすべて，ブラザー（B）さん・シスター（S）さんの指示に従う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーションの司会を行う。司会を店長に任せても良い。</li> <li>荷物置場の確認，昼食の場所の確認，反省会の場所の確認をし，生徒に連絡する。</li> <li>体調不良者が出た場合，「学校までご一報ください」とお願いする。</li> <li>引き渡した後，しばらく店内を巡回し，様子を見計らって引き上げる。</li> </ul>
9:00	《2日目以降》 直接，職場に行く	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業準備に取り掛かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前日の記録用紙がしっかり書かれているか確認する。</li> <li>引き渡した後，しばらく店内を巡回し，様子を見計らって引き上げる。</li> </ul>
9:10	作業開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトなメモ帳と筆記具を携帯する。</li> <li>分からないことや疑問に思ったことは，B・Sさんに一日最低二つは質問する（要記録）</li> <li>貴重品の管理は，各自で行う。</li> <li>昼食時間は作業の状況により変わることもあるので，B・Sさんの指示に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店内巡回指導を行う。</li> </ul>
9:30	<p>朝礼</p> <p>(12:30 ~ 13:10 昼食・休憩)</p>		

15:00	作業終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>従う。</li> <li>昼食休憩後，5分前に職場に戻る。</li> <li>職場を離れるときはB・Sさんに所在を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>14:40～14:50 入店する。</li> <li>反省会前に店長と反省会の流れを確認する。</li> </ul>
15:05	反省会	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録用紙の内容に沿ってその日の感想，反省，明日に向けての抱負を大きな声で発表する。</li> <li>一日の実習を終えて疑問に感じたことを質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>反省会の司会を行う。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 店長講話(初日:店舗概要，社会人の資質，2日目:実習を通して気付いたこと，3日目:商業科高校生に向けて)</li> <li>2 生徒発表(感想，反省，明日への抱負)</li> <li>3 質疑応答(一人一回は質問できるよう事前に指導する)</li> </ol> </li> </ul>
15:30	解散(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>しっかり休養をとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日誌はその日のうちにまとめるように」，最終日には「明日，日誌・作文・お礼状を必ず持ってくるように」と生徒へ伝える。</li> </ul>



オリエンテーション



朝礼

(5) 単位認定・評価

3日間を商業科目の授業として位置付け，欠席は商業科目の欠席時間数としている。職場体験による単位認定や評価を出すことはしていない。

(6) 損害賠償保険の加入

店舗内の器物破損に対しては，「インターシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険制度」加入で対応している。

(7) 生徒の感想

- ・働くことの大切さを体験できた。

- ・朝早くから出社して夕方まで毎日働くことのつらさを感じた。
- ・働いた経験がないので、働くことがどんなものかが分かってよかった。
- ・待つのではなく、積極的に行動することの必要性を体験できた。
- ・指示をしっかりと聞いて行動することの大切さを学ぶことができた。
- ・少しでも会社の中を見ることができたのはよかったと思う。
- ・周りに気を配る難しさと大切さを学べた。
- ・使用したことがない機器を操作できるようになってよかった。
- ・自分の行動力を把握することができた。
- ・何事にも積極的に行動することの大切さを理解できた。
- ・お客様とのコミュニケーションの大切さを学んだ。
- ・接客が難しかった。
- ・職場における人間関係の重要性を体験できた。

#### 4 考察

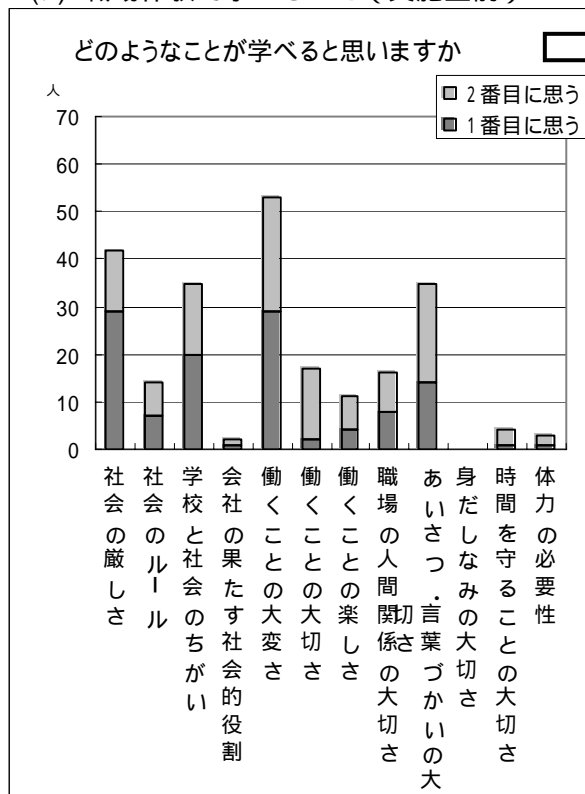
平成 18 年度の職場体験の前後に、生徒 116 名に対しアンケートを行い勤労観、職業観についてどのような変化が認められるかを調査した。

##### (1) 職場体験で学んだことについて

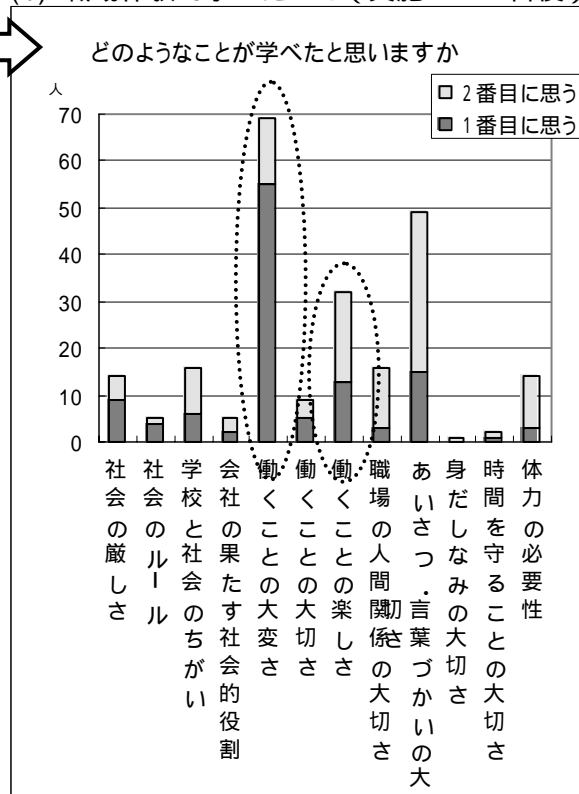
ア 調査方法 職場体験で学べること、学べたことについて、選択肢より二つを選択する方法で行った。

##### イ 調査結果

(ア) 職場体験で学べること(実施直前)



(イ) 職場体験で学べたこと(実施1~2日後)



##### ウ 考察

職場体験実施前は、「社会の厳しさ」等が学べると漠然と思っていた生徒であるが、3日間の職場体

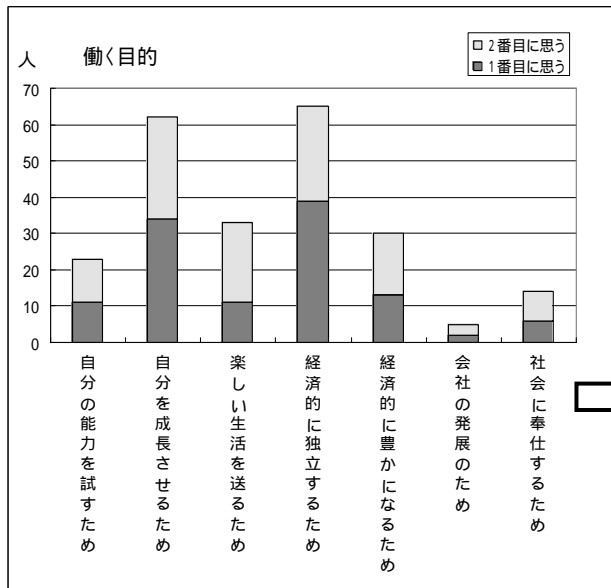
験を通して、働くこと自体について考えることができた。「働くことの大変さ」を選んだ生徒が実施前53名(46%)から69名(59%)と増えた。さらに、「働くことの楽しさ」を感じた生徒が11名(9%)から32名(28%)と増えたことから、働くことの厳しさとともに、働くことの喜び、やりがい、仕事の成就感や自己有用感を得ることができた。

(2) 働く目的の意識の変化について

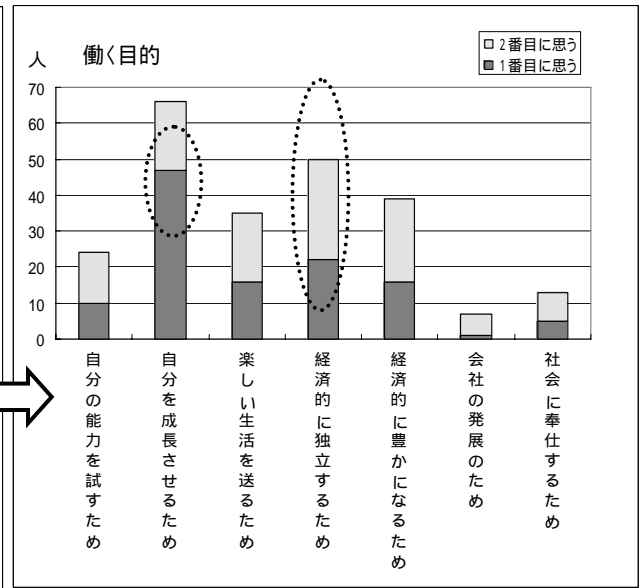
ア 調査方法 働く目的は何かについて選択肢より二つを選択する方法で行った。

イ 調査結果

(ア) 働く目的(実施直前)



(イ) 働く目的(実施1~2日後)



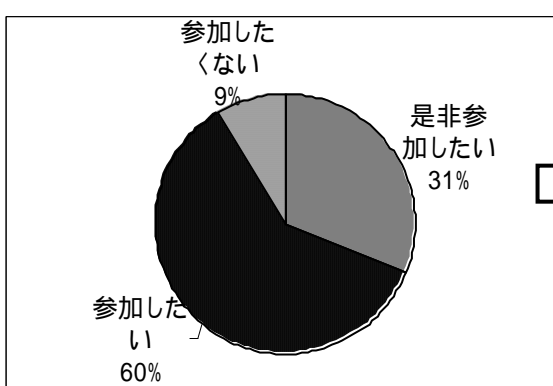
ウ 考察

事前の調査では、働く目的は「経済的に独立するため」という生徒が最も多く、63名(54%)であった。また、「経済的に独立するため」「経済的に豊かになるため」という収入面を1番目に考える生徒が52名(45%)いたが、実施後の調査では38名(33%)と減少した。反面、「自分を成長させるため」を1番目に答える生徒は34名(29%)から47名(41%)へ増加し、2番目に思うを選択した生徒も含めると66名(57%)となり、最も多い。働く目的は、収入・報酬を得て生計を維持するためだけでなく、自らを成長させるためでもあることを知ることができた。

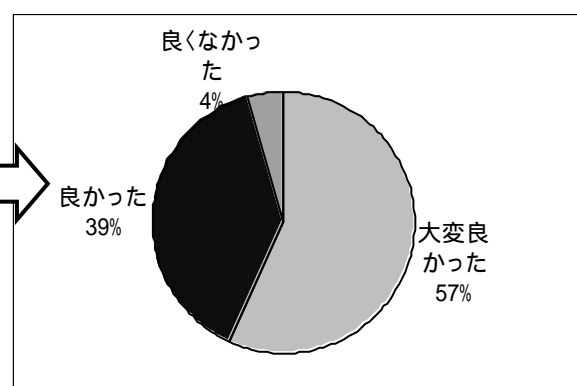
(3) その他

その他の調査結果からも職場体験が生徒にとって有意義であったことが分かる。

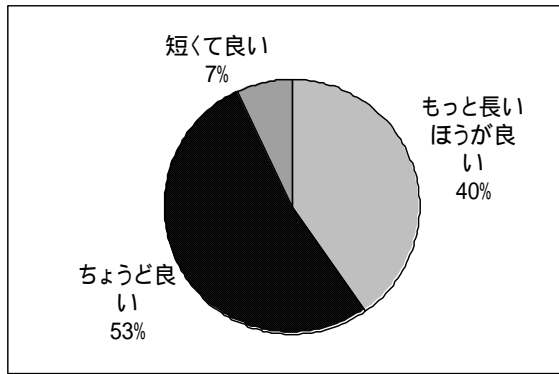
ア 体験入社に参加したいですか(実施直前)



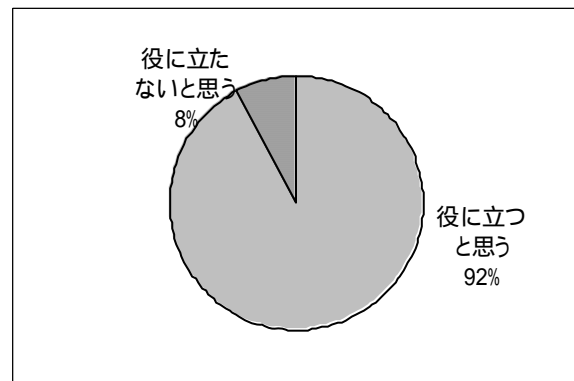
イ 体験入社はどうでしたか(実施1~2日後)



#### ウ 体験入社の日数はどうですか



#### エ 体験入社は進路選択に役に立つと思うか



## 5 成果と課題

### (1) 成果

#### ア 職場体験3日間の成果

職場体験は、「勤労観、職業観を育む学習プログラム」のすべての領域の能力を身に付けることができ、勤労観、職業観を育成できる。

販売という職種の体験を通して、自己の職業的な能力・適性を理解する【人間関係形成能力(自他の理解能力)】。また、仕事を任せ一人前として扱われることで、自己有用感を感じ、仕事のやりがいを実感できる。

店長という管理職、ブラザー・シスターという上司に対するコミュニケーション、お客様を相手にして販売実績を上げるためのコミュニケーション等の場に応じたコミュニケーションをとることの必要性を実感し、実践できるようになる【人間関係形成能力(コミュニケーション能力)】。また、組織として確立されている職場であるため、社会規範やマナー等の必要性を、店長やブラザー・シスターの言動により直接学び、習得することができる【情報活用能力(職業理解能力)】。店長やブラザー・シスターという職業人としてのプロの話を、毎日の講話や一対一の個別指導の中で直接聞くことで、仕事に対する姿勢や意識を学ぶことができる。

大規模小売店での実習であるため、企業の社会的責任、利益を上げるための様々な工夫等の実社会の経済活動の仕組みを現実的に理解する【情報活用能力(情報収集・探索能力)】。

毎日、反省会を実施するため、生徒は問題意識をもちながら自己の役割を積極的に行わなければならない。生徒には負担になることであるが、反省会で勤労観、職業観の甘さを指摘されることで仕事の厳しさを実感する。半面、はっきりと的確な意見を述べられたときの充実感は忘れられない経験となる。

3日間の体験により、今後の進路選択がより身近で現実的なものであることを実感し、今後の高校生活において進路実現のために取り組むべき課題が明確になる。

#### イ (株)ヨシヅヤ1社で実施する職場体験の成果

(株)ヨシヅヤは大規模小売店として地元で密着し発展している。企業の社会的責任、経営の合理化、コスト削減、集客のため工夫等を3日間の職場体験で体験し、社会の仕組みや経済社会の構造とその働きを具体的・現実的に理解することができる。特に、(株)ヨシヅヤは日ごろから生徒が客という立場(消費者側)でよく利用している身近なショッピングセンターであるため、同じ場所を店員(経営者側)という立場で体験することで、より具体的・現実的な理解が深まる。

生徒一人に対して一人の指導者を付け、直接、丁寧な指導があり、指導者は(株)ヨシヅヤというブラ



ンドを販売する職業人としてのプロフェッショナルである。その仕事ぶりから、仕事に対する姿勢や意識を学ぶことができる。

学校側からは、前述のとおり、しっかりした指導者の下、キャリア教育の効果も上がり、安心して生徒を職場体験に行かせることができる。配属される売場は異なるが、体験内容がほぼ同じであり、体験内容が把握できる。同様に、事前指導等も1社のみのため一律に実施でき、指導内容が浸透しやすく、システムとしての職場体験が実施しやすい。店舗数が少ないため、集合点呼、巡回指導等の教員の負担も軽減される。

生徒は一人で職場体験に行くのではないので心強く、他の職場の仕事内容も生徒同士の情報交換で理解できる。しかし売場は異なるため、実習は一人で行い、職場体験としての教育効果は十分に得られる。

## (2) 問題点，課題

### ア 準備期間中の問題点，課題

事前指導の時間が少ないため、簡潔かつ効果的な指導が必要である。ただし、職場体験が学校行事として定着しているため、入学時より様々な場面で意識付けができる。

2年商業科全員を職場体験に参加させるためには、生徒全員が明るく、元気で素直であること、礼儀正しいこと、責任感のあることが最低限必要となる。生徒指導部をはじめとして教員全員の指導により、職場体験が実施できている。この体制を継続し、生徒指導をきめ細かく行うことが商業科全員の職場体験を実施するための前提条件である。

### イ 職場体験実施中の問題点，課題

学校生活と違い休憩時間が少なく、立ち作業が長く続き、精神的・肉体的な疲労が大きい。2日目以降、疲れと慣れによる気持ちのゆるみが出てきて、遅刻者が出るなどがある。生徒の状況を把握するためにも、朝の点呼時や帰りに生徒一人一人に声を掛けるなどしている。

### ウ 事後指導の問題点，課題

記録用紙をまとめ、提出することで事後指導としており、進路計画の見直し等を行うための時間を設けていない。この時期は、進学希望者の多い本校商業科では最も大切な検定試験である日商簿記検定2級受験直前である。生徒の意識を職場体験から次の目標に切り替えることも重要であるため、事後指導に時間を使わず、キャリア教育を考えた場合の事後指導不足を感じる。

### エ 一社一職種での職場体験についての問題点，課題

全員が販売職での実習であるため、事務職・技能職等を希望している生徒の進路希望とは一致していない。勤労観、職業観の育成には成果があるが、勤労観、職業観をはぐくむ育む学習プログラムにおける高等学校段階の「進路の現実吟味と試行的参加」という目標を達成することはできない。しかし、生徒の希望職種での実習が可能な受入企業を確保することは難しく、また、その受入企業においてヨシツヤ体験入社と同等の教育効果を得ることは難しいと考える。